

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2019年 2月 28日

## 2018年度申8号「2019年度総合車両センター業務について」に関する解明申し入れについて

遅くなりまして申し訳ございません。2月19日に「2019年度総合車両センター業務について」に関する解明申し入れ」を提出し、2月27日に解明交渉を行いました。申し入れ概要と回答を記載します。申し入れ詳細や解明内容など不明な点等ございましたら、団交出席者や地本業務部に連絡を下さい。

※記載の共通項目を含め、28項目申し入れ、解明交渉を行いました。

### 「2019年度総合車両センター業務について」に関する解明申し入れ

この間、新幹線総合車両センターと郡山総合車両センターの業務改善について、将来を見据え技術継承と技能伝承が出来る体制・職場に向けて、検証や団体交渉等の議論を重ねてきました。また、提案の際にもJR東日本の重要なマザーベースとしての役割は変わらないことを確認することが出来ました。今後とも積み重ねてきている議論を踏まえ、近年特に顕著な大量退職期のなか、担保している特殊な技術・技能などを維持・発展できる施策とすることが、課題であると考えます。また、2019年度は提案にありましたように、「変革2027」「グループ安全計画2023」の方針、次世代新幹線や「TRAIN SUITE 四季島」入場など、また、新幹線統括本部の設置も含め、環境変化が大きい年度であると認識しています。引き続き、将来展望や職場環境の変化に対する安全性の確保を中心とした問題意識、人材育成や技術継承・技能伝承、部外委託件名に対する課題の解決などに向けた、議論を創り出していきます。つきましては、以下のとおり申し入れますので真摯な回答を求めます。

#### 1, 車両メンテナンスブラッシュアップの構築に向けた具体的な取り組みについて明らかにすること。

(回答)IoT等の最新技術や自動化された設備機械を導入するとともに、検修ラインの抜本的な見直しを進め、将来の車両メンテナンス体制の構築に向けて検討を行っていくこととする。

#### 2, 新系列車両の周期延伸に伴う具体的な取り組みについて明らかにすること。

(回答)新系列車両の周期延伸については、2019年度からの移行開始に向け、準備を進めているところであり、準備出来次第、関係社員に周知することとなる。

#### 3, TRAIN SUITE 四季島の検修にあたりプロジェクトの進捗状況及び必要な試験機、設備等の準備について順調に進んでいるのか明らかにすること。

(回答)「TRAIN SUITE 四季島」については、メンテナンス内容について、検討を行っているところである。また、設備等の整備については準備を進めているところである。

#### 4, 走行試験のメニューと実施時期について明らかにすること。

(回答)次世代新幹線高速試験電車の走行試験は、「更なる安全性・安定性の追求」「快適性の向上」「環境性能の向上」に関して、2019年度から実施する計画である。

#### 5, 人事交流の有無、交流を計画している区所・車両センターを明らかにすること。

(回答)人事交流については、引き続き実施して行く考えである。

#### 6, 改造工事の「等」とは何か。計画されている件名について明らかにすること。

(回答)既計画の車両工事以外に発生する修繕工事である。

...

安全・安定輸送と健康・働きがいのある職場づくりに向けて、  
基本交渉に向けて、議論をつくり出そう!